

平成28年度 中国地方建設技術開発交流会 質問及び回答

課題名：i-Construction ～ICT活用工事の現状と今後～

発表者：国土技術政策総合研究所 社会資本施工高度化研究室 研究官 舛田 裕司

《質問》

工事施工時に必要な資料（施工業者提出）は、各施工（工種）でどのようなものが必要ですか。

《回答》

各施工（各工種）とありますが、ICT活用工事に関する新たな基準類は、現時点で土工のみです。

ICT活用工事に関する工事施工時に必要な資料は以下の通りです。

【UAVの場合】

- ①施工計画書
- ②3次元設計データ
- ③3次元設計データチェックシート
- ④カメラキャリブレーションおよび精度確認試験結果報告書
- ⑤出来形管理図表
- ⑥その他必要な資料

【レーザースキャナの場合】

- ①施工計画書
- ②3次元設計データ
- ③3次元設計データチェックシート
- ④精度確認試験結果報告書
- ⑤出来形管理図表
- ⑥その他必要な資料

完了検査は、書面検査と実地検査を行います。

書面検査は、以下の通りです。

【UAVの場合】

- ①空中写真測量（UAV）を用いた出来形管理に係わる施工計画書の記載内容
- ②設計図書の3次元化に係わる確認
- ③空中写真測量（UAV）を用いた出来形管理に係わる工事基準点等の測量結果等
- ④3次元設計データチェックシートの確認
- ⑤空中写真測量（UAV）を用いた出来形管理に係わるカメラキャリブレーションおよび精度確認試験結果報告書の確認

- ⑥空中写真測量（UAV）を用いた出来形管理に係わる「出来形管理図表」の確認
- ⑦品質管理及び出来形管理写真の確認
- ⑧電子成果品の確認

【レーザースキャナの場合】

- ①レーザースキャナを用いた出来形管理に係わる施工計画書の記載内容
- ②設計図書の3次元化に係わる確認
- ③レーザースキャナを用いた出来形管理に係わる工事基準点等の測量結果等
- ④3次元設計データチェックシートの確認
- ⑤レーザースキャナを用いた出来形管理に係わる精度確認試験結果報告書の確認
- ⑥レーザースキャナを用いた出来形管理に係わる「出来形管理図表」の確認
- ⑦品質管理及び出来形管理写真の確認
- ⑧電子成果品の確認

実地検査は、検査職員が指定した1断面の平場において、任意点の設計値と計測値の差を検査します。

実地検査で使用する計測機器は、GNSSローバーまたはトータルステーションです。